

第二次阿久根市子ども読書推進計画（案）に対する意見と 阿久根市の考え方

平成30年3月3日から平成30年3月30日までの間に募集しました「第二次阿久根市子ども読書推進計画（案）」についての意見と阿久根市の考え方についてお知らせします。

- 提出人数 1名
- 提出のあった意見の数 1件

意見	市の考え方
<p>(箇所) 読み聞かせの活動について</p>	
<p>(内容) 書かれていることは理想的ですが実態はどうなのか知りたいと思います。 10年位前「本に親しむ集い」では、トトロの部屋（脇小）おはなしクレヨン（山下小）ぐりぐら会（折多小）など活動の内容を知り頼もしく思ったのですが、今脇小のトトロの部屋の活動のみであとはどうなっているのかわかりません。又脇小では、朝の読み聞かせを行っていますが他の学校はどうなっているのでしょうか。 創生塾で読みきかせをしています。同じような繰り返しで、進歩がありません。 阿久根市でどれくらいの方が読み聞かせをしているか、どんなときされているのか、知りたいと思います。 全体が集まり、実態を知ることにより具体的な活動方法などわかってくるのではとおも</p>	<p>貴重な御意見ありがとうございました。 読み聞かせの活動についての御意見であります。市内の読書グループにつきましては、平成29年度時点で生涯学習課が把握しているグループとして、こども園及び保育園の4団体、小学校の6団体があります。内容につきましては別紙1を参考にしてください。 子どもの読書の実態につきましては、市内全学校ごとの月平均をまとめますと、低学年で18冊、中学年で15冊、高学年13冊、中学生で5冊となっています。個別に見ると学校や学年によって差が生じていますが読書に対する取り組み方の違いだと考えられます。 読み聞かせにつきましては、月平均で小学校では4回程度、中学校では1回程度実施しています。 小学校での読み聞かせは、読書グループや教職員、保護者、児童等が、朝の読書活動の時間や学校行事、昼</p>

<p>います。</p> <p>生涯学習課で研修の場もつくっていただきたいと思います。(講師を呼んで研修会をひらくなど子供たちの読書に力を入れてください。)</p> <p>それから「本に親しむ集い」には多読者賞の表彰に教育長の出席もお願いします。</p>	<p>休み、授業等の時間に行っています。中学校での読み聞かせは、読書グループや保護者、生徒等が、朝の読書活動の時間や昼休み、授業等の時間に行っています。</p> <p>これらの学校での読書活動につきましては別紙2にまとめていますのでそちらをご覧ください。</p> <p>生涯学習課で研修の場をつくる件につきましては、貴重なご意見として今後、参考にしていきたいと思えます。</p> <p>「本に親しむ集い」での多読者賞の表彰に教育長の出席につきましては、参加のお願いをしておりますが、公務が重なってしまった場合は出席ができないこともございますのでご了承ください。</p>
--	--

※ 意見については、項目番号等一部を除き、原文のまま掲載してあります。